

# 東武動物公園 ニュースリリース

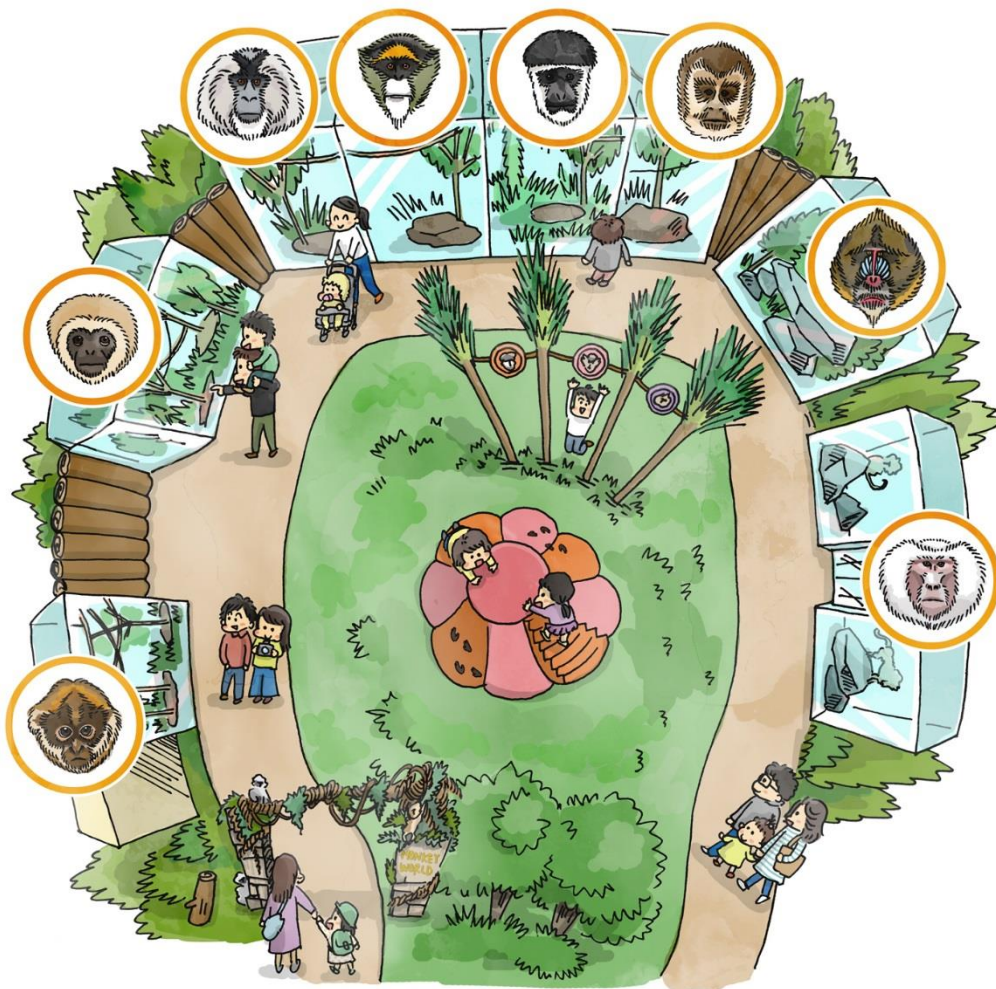
動 29-27 号  
平成 30 年 3 月 6 日

## サルの世界を体験しよう！ 「モンキーワールド」

2018 年 4 月 21 日（土）リニューアルオープン！！

東武動物公園（東武レジャー企画株式会社 埼玉県宮代町 社長：日置岳人）では、多種多様なサルたちの展示エリア「モンキーワールド」が平成 30 年 4 月 21 日（土）にリニューアルオープンします。

8 種、43 頭のサルたちを飼育・展示する、新しい「モンキーワールド」は、“モンキーライフ”をコンセプトに、各種サルの生息地に自生している植物や岩（擬岩）などを配置することで、生息地の環境に近づけ、サルたち本来の行動と魅力を引き出す施設になります。



新モンキーワールドイメージデザイン 敷地面積：2,355 m<sup>2</sup>

## 施設の特徴について

### ① サルたちが生き生きと暮らす森～生息地の再現～

サルたちは種類により生活環境が異なり、独自の進化を遂げています。それぞれのサルの生態に合わせた展示環境を作ることにより、その種、本来の特徴をご覧いただけます。その中でも必要不可欠なのが『樹木と水』です。樹木を利用した華麗なブラキエーション(※)、ジャンプ力を生かし水に飛び込む姿、自然な水飲み場など、サルの生活に必要な樹木や水を再現します。

※ブラキエーション…雲梯のように腕渡りをする事。

### ② ガラスビューで間近に観察

これまでの柵越しの展示場とは異なり、より近くでサルたちを観察できるよう、全面ガラスビューの展示場になります。サルたちの体の大きさや毛並、行動など小さなお子様でも目の前で見ることができる。

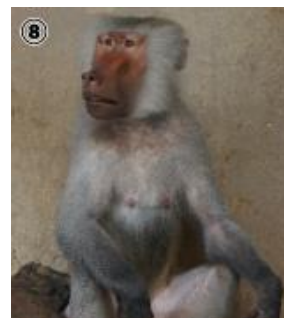
### ③ モンキーフィールド(アスレチック・休憩所)

サルを観察した子どもたちが、実際にサルの行動を真似できる「モンキーフィールド」をつくりまします。サルたちが普段当たり前のようにできる動きを、子どもたちが挑戦することで、サルの身体能力の高さを体験できます。

また、アスレチックの隣には休憩スペースがあり、家族でゆっくり快適に過ごすことができます。

## サルの種類について

- ①ジェフロイクモザル(オス 3 頭、メス 2 頭)
- ②シロテテナガザル(オス 2 頭、メス 2 頭)
- ③シシオザル(オス 1 頭、メス 3 頭)
- ④ブラッザゲノン(オス 2 頭、メス 3 頭)
- ⑤アビシニアコロブス(オス 1 頭、メス 2 頭)
- ⑥フサオマキザル(オス 1 頭、メス 5 頭)
- ⑦マンドリル(オス 1 頭、メス 3 頭)
- ⑧マントヒヒ(オス 6 頭、メス 6 頭)





## 各サルの注目ポイント

### ① ジェフロイクモザル、シロテテナガザル

#### 『スカイウォーク』

高さ5mの樹木を長い腕や尾を使って、枝から枝へ華麗に移動する様子を見ることができます。高い運動能力を自然に近い形で間近で観察できます。



### ② シシオザル、ブラッサグェノン、アビシニアコロブス、フサオマキザル

#### 『サルのコミュニケーション』

4種のサルが暮らすこのエリアでは、お客様が展示場のガラスに手をかざしたり、アクションを起こすと、サルがお客様のもとに近づき、同じように応えてくれるかもしれません。



### ③ マンドリル

#### 『鮮やかな顔とにらめっこ』

色鮮やかな顔と大きな体、鋭い牙をもつマンドリル。一見怖そうな見た目ですが、家族を大切に育てるサルです。ガラスビューの展示場では、鮮やかな顔とにらめっこをしたり、一緒に記念撮影ができます。



### ④ マントヒヒ

#### 『大迫力な猛ダッシュ！！』

集団で行動し、仲間意識が高いことで知られるマントヒヒは、群れで勢いよく走る習性があるため、展示場を二つに分け、そこを行き来するための長さ6mの通路を設けました。展示場と通路の間にある扉を開けると、もう一方の展示場へ向かって、マントヒヒが勢いよく走ります。その迫力ある姿をマントヒヒと同じ目線で観察することができます。



〒345-0831 埼玉県南埼玉郡宮代町大字須賀 110

東武レジャー企画(株) 業務部 山口・中嶋・前田・白石

Tel 0480-93-1200 Fax 0480-92-2694 HP アドレス <http://www.tobuzoo.com>